

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
多摩センター駅周辺地区

令和5年3月

東京都多摩市

1. 数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標 1	多摩センター駅の乗降客数	人/日	173,131	179,650	109,828	確定 見込み ●	△	あり なし ●	128,451	R4 年 3月	△	新型コロナウイルスの流行により、外出が制限されたことから評価値を下回ったと考えられる。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新型コロナウイルスの流行により、外出が制限されたことから目標達成値には至らなかったが、コロナに係る行動制限の緩和により、乗降客数が増加し、多摩センター駅周辺地区の賑わいが創出につながることが期待される。
指標 2	来訪者アンケート調査（滞留空間創設状況の充足度）	%	12.2	24.4	43.2	確定 ● 見込み	○	あり なし	—	R 年 月	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ストリートファニチャー等の整備により滞留空間が確保され、駅周辺のペDESTリアンデッキの休憩スペースが改善されたことから、来訪者アンケート調査結果に影響したと考えられる。
指標 3	オープンカフェ事業日数	日	13	60	308	確定 ● 見込み	○	あり なし	332	R4 年 3月	○	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ストリートファニチャー等の整備により滞留空間が確保されたこと、また新型コロナウイルス感染防止対策のため店外での飲食環境が好まれたこともあり、目標値を大幅に上回った。第2期での計画でも事業日数の増加が期待される。
指標 4						確定 見込み		あり なし		R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標 5						確定 見込み		あり なし		R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式 2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標 1					確定 見込み				R 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標 2					確定 見込み				R 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標 3					確定 見込み				R 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式 2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を持続させるために 行う方策</li> </ul>	オープンカフェの継続	特例道路占用許可の活用によるオープンカフェ（パラソル、チェア等）の設置	ストリートファニチャー等の整備により滞留空間が確保されたこと、また新型コロナウイルス感染防止対策で三密を回避するため店外での飲食環境が好まれたこともあり、目標値を大幅に上回り、賑わい空間の創出につながった。	新型コロナウイルスの影響が縮小し、行動制限の緩和が進む中でも、継続した賑わい空間を創出していくための取り組みを検討する必要がある。
	案内板・サインの維持管理	案内板やサインに記載のある施設等の変更	施設名称をが変更する必要があるものがなかったものの適切な維持管理を行うことができた。	施設名称の有無の確認に加えて、老朽化しているもののメンテナンス等も検討する必要がある。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>その他 必要な改善策</li> </ul>	回遊性のあるまちなみの形成	多摩センター駅の回遊性の向上、活性化を図るべくまちづくり方針の策定に向けた検討を実施した。	まちづくり方針の策定にあたり、アンケートやワークショップ、社会実験等を実施し、来訪者のご意見やまちに対する等を収集することができた。	方針策定にあたっては、行政や関係事業者主導のまちづくりではなく、街を利用する市民や来訪者を主体とし、「街を使う」という視点を取り入れた方針策定を目指していく。
	駅周辺施設の改修	駅周辺施設の整備を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>バルテノン多摩 令和4年7月オープン</li> <li>中央図書館 令和5年7月の開館に向け工事中（令和5年3月終了予定）</li> <li>多摩中央公園 改修に向け整備中（令和7年1月リニューアル予定）</li> </ul>	回遊性と賑わいを創出し、多摩センター駅全体の更なる活性化につながる足掛かりとなる施設の整備を進めることができた。	ハード面での整備を推進しながら、ソフト面においても人の流れを生み出す取り組みが必要である。
	移動環境の充実	回遊性ととも滞り性の向上も考慮し、遊歩道（レンガ坂）の改修を行った。 （令和5年度中に完了予定）	工事中ではあるが、通行空間を拡げたり、歩きやすい舗装を整備するなど安全な空間を確保するとともに、イベント等を実施できる空間も確保することができた。	通行空間の使い方（歩き方や自転車の通行ルール等）は今後、市民とともに決定していく予定である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項